

年末、府立公園の指定管理者選考で、橋下知事が選考結果に異議を唱えたことは、マスコミでも報道された。(株)ナイスも都市公園共同管理体の一員として、その渦中にいた。結果は、住吉公園、住之江公園では再任され、新たに河内長野公園も選任された。久宝寺公園では、公園協会に僅差で敗れたが、橋下知事が、公園協会受託物件では、3年の契約期間を1年に変更したため、捲土重来の機会が早められた。公園協会は、11公園にノミネートし、10公園で当選したが、これが不明朗な選考と疑われた。府の当該部局や公園協会にしてみれば、選考はいたって公正

うをいかに表現するかということ。もう一つは、「競う」ことで「育てる」ということ。旧来の管理制度では見落としがちだった「府民目線」や「社会目線」を、「競う」ことで「育てる」という意味だ。だから、3年前、ボク達は「公園で寝てる人から、公園で働く人へ」と、ホームレス支援を社会目線から世に問うた。府議会で橋下知事は、障がい者雇用など政策評価は堅持すると答弁した。正直言って、知事は市場主義の過激派ではと懸念していたので、そのバランスのよさには、内心ホッとした。

打ち明けて言えば、ボクは、障がい者雇用の法定雇用率にはあま

なもので、最後まで、知事の介入は理不尽と思っていたらしい。共産党や公明党の議員さんたちも、この点では公園協会に同情したような議会質問だった。ボクも、当事者として見て、選考が偏っていたとは思わない。ただ、11の内10も受託した事業者が府の出資法人だったとしても、公正な選考結果だから問題ないとする選考委員会の「社会感覚」には、啞然とした。

実は、ボクは、選考に入る当初から、二つのことを言い続けた。一つは、「権限なき官」ということ。すなわち、「権限」に代わる「知恵」で「官」としてのありよ

り興味がないし、NPOや社会的企業で一般企業と競おうとも思っていない。ボクは、公園でのホームレスを見て、「寝てる人から、働く人へ」と思い立った。「市場」に「社会」をコミットさせることが、ボク達の「企て」、企業だ。捲土重来、ボク達は、いま一度、府立公園に「社会」というテントを張る。橋下知事、しっかり見ていて欲しい。

(株)ナイス代表取締役 富田一幸

上の四葉のクローバーは「都市公園管理共同体」のマークです。NPO法人釜ヶ崎支援機構、(株)大代興業、(株)美交工業で府営住之江公園、住吉公園の管理を行なっています。公園住吉公園と住之江公園の間を無料で乗り捨て出来るレンタサイクル事業の実施等、ホームレス就労体験事業として、様々な事業に積極的に取り組んでおります。



府立公園に「社会」というテントを張る

この逸曲

アナログレコードの逆襲その20
シークレット・ポリスマンズ・アザー・ポールファイ・シャル・ビー・リリースト」
アルバム「シークレット・ポリスマンズ・アンド・アザー・ポール」から



正義感丸出しのドラマは僕の最もやりたくない作品であった。いづれにしても「A」とはご苦労さんで終わってしまったのだが、その数年後、同じ「A」の英国本部が主催するロックのガラコンサート(寄付金集め)があり、その実況録音盤がレコードアルバムとして発売されたのだ。

ノバンが健在で観客の大きな拍手を受けていた。そして最後のトリではステイングが、参加者「シークレット・ポリスマンズ・アンド・アザー・ポール」をリードしながら、10分間に及ぶレゲータッチの「アイ・シャル・ビー・リリースト」を軽快なリズムで歌いまくるのである。作曲家ティランが見ていたら喜んだに違いない。

今は昔、ある映画祭の実行委員に關わっていた頃、人権団体「A」の日本支部スタッフをしていた友人が、彼女の所属団体主催の啓発上映会をするために企画協力を求めてきた。僕はこれぞ啓発の見本というような作品に興味は無く、それぞれの観客がそれぞれの違った印象を感じ、新しい視点や価値を得られるきっかけとなる作品を提案したかったので、企画提案ではそんな作品をいくつか選定した。しかし、当時「A」に賛助していた映画好きの若手国立大教官は、僕の提案作品には人権的視点が薄くアピールが弱いとし、彼が以前から主張していた米映画を強力に主張した。この映画は黒人排斥に強く抗議する見本のような作品で、

このコンサートには、英国ナンセンスコメディで有名な「モンティ・パイソンの俳優がステレオレクターを務め、ステイング、ジェフ・ベック、エリック・クラプトン、ドノバン、フィル・コリンズらロック・アバンギャルドのすごい面々たちが参加している。このコンサートのタイトルが「シークレット・ポリスマンズ・アザー・ボール」で、このステイングに参加するスタッフやミュージシャンたちの総称ともなっているのだ。

冒頭、ポリスのボーカリスト「ステイング」がヒット曲「ロクサーヌ」や「メッセージ・イン・ア・ボトル」をしみじみと歌い、ポリスとは違った印象を見せ、ある時期イギリスのティランとも言われたド

ここに人権とか反差別などと言う声高さが無く、それがカッコいい。あの教官の勧善懲悪論は、僕にとってステレオタイプな人権感覚を持つ人たちをますます嫌悪させる、啓発、効果しかなかった。

ステイングらが歌う「アイ・シャル・ビー・リリースト」の能天気さ、そしてアバンギャルドさ。私たちにはあのフィリングがいまもっと必要だと思う。

— SHALL BE RELEASED —

hidarimaki